

■ 住みやすく働きやすい北海道の発信

住みやすく働きやすい場所としての魅力を発信するとともに、地域おこし協力隊のインターン制度の活用促進に取り組みます。

(政策展開の方向性)

農林水産業や建設、運輸、観光などの人材の育成や確保に向けて、オール北海道で移住や就労のプロモーションを実施するとともに、地域おこし協力隊のインターン制度を活用し、地域のニーズに応じて働きながら地域を体験する機会の創出に取り組みます。また、地域産業の担い手確保に向けた地域の取組を支援するとともに、北海道型ワーケーションの定着に向けて、道外企業とのマッチングなどに取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
持続可能な公共交通ネットワークの構築	○広域的な地域公共交通計画の策定に向け、4地域(南空知、胆振、渡島・檜山、宗谷)で地域公共交通活性化協議会を設立 ○また、既に計画を策定済みの10地域(北空知、中空知、さっぽろ連携中枢都市圏、後志、日高、上川、留萌、オホーツク、十勝、釧路・根室)においては、持続可能な地域交通の確保に向け、計画の推進管理を実施	0210
移住・定住の推進	○移住促進や交流づくりの機会拡大に向け、首都圏での対面イベント及びオンラインでの取組(オンラインセミナー、ターゲット広告、SNS参加促進など)を積極的に実施【R4:移住定住情報発信サイトのアクセス数348,403件、交流イベントの参加者数705人、SNS参加者数3,554人】	0211
外国人の受入拡大	○北海道国際交流・協力総合センターと連携し、南米技術研修員を3名受入れ	0213
地域政策の推進	○知事・市町村長によるトップセールスの場として、企業を対象とした「ほっかいどう応援セミナー」を開催【R4.9(札幌)、R4.11(東京)】	0215
総合交通ネットワークの形成	○新千歳空港国際化推進協議会におけるワーキンググループ設置や、空港人材確保に向けて北海道エアポートが主催する「新千歳空港地上支援業務対策ワーキングチーム」における国際線再開に向けた諸課題についての情報交換等により、受入環境の整備を推進【R4.7以降7回開催】 ○これまでバス事業者から要望が寄せられた補助金の概算払いや、複数市町村に跨がる生活バス路線や市町村が主体となって運行するバス路線の補助要件を緩和し運行経費の一部を支援したほか、関係団体や事業者等と連携しながら、バス運転体験をセットにした合同採用説明会を開催するとともに、大型二種免許の取得に対する助成事業や若年者向け啓発活動などの取組を実施	0218
滞在交流型観光地づくりの推進	○地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業において、DMO申請枠を導入し、ワーケーションや観光のDX化をはじめとする商品開発支援を実施【R4実績:DMO枠3件、地域単独枠54件、広域連携枠34件】 ○R3.7に北海道観光審議会に部会を設置し、新たなガイド制度について検討を進め、R5.7に施行・運営開始 ○アドベンチャートラベルの受入拡大に向けて、ガイド育成研修を道内各地で開催【R2:9回、R3:23回、R4:21回】	0515
産業人材の確保	○東京圏からの移住者に支援金を交付した市町村に補助し、各市町村が進める移住政策を支援【R4:27市町村で99人に支援金交付】 ○企業におけるプロフェッショナル人材の確保を支援【R4.7~R5.6、道外から19人が道内就職】 ○道外大学と道内企業の交流会を開催【R4:2回実施、参加大学30校・参加企業50社】 ○アドバイザーによる個別支援(R4:125社)、企業見学・長期インターンシップ受入支援(R4:37名/17社)、補助金支給・定着フォロー(R4:13社)を実施【求職者74名が就職】 ○就活セミナー&相談会(R4:41名)、合同企業面談会(R4:36社/122名)、外国人材採用セミナー(R4:41社)、交流座談会(R4:15社/30名)を実施【留学生、特定技能等23名が就職】	0521

(続き)

区分	主な取組	備考 (施策Code)
農業の担い手の育成・確保と農業経営の総合的な体質強化	○北海道農業担い手育成センターや市町村、関係機関・団体と連携し、就農相談会を開催し、研修受け入れや就農情報の提供、就農相談等を実施【R4:27回開催、R5も同数開催予定】 ○国費を活用した市町村研修農場の整備【R4:2地区、R5:2地区予定】 ○地域の関係機関・団体と連携して、就農相談体制の整備、就農時の施設・機械取得、就農後の営農指導など段階に応じて支援 ○農外、道外の人材確保に向け、退職予定自衛官の農業インターンシップ先の調整(石狩管内)、鹿児島県との産地間連携に向けた現地調査(十勝管内)を実施 ○農福連携技術支援者育成研修を道内で初めて開催し、実践的なアドバイスを行う専門人材を育成することで、農福連携による労働力確保の取組を推進 ○農業団体との農業労働力WGをR5に4回開催(R5.7未現在)し、道内の労働力不足や各取組の情報共有などを図り、労働力確保対策の取組を推進	0608
水産業の担い手対策の推進	○北海道漁業就業支援協議会と連携して、就業支援フェア等を活用した就業希望者と受入者とのマッチングを実施するほか、電話やメール等による就業相談に応じるなど漁業就業の関心を高め漁業への新規就業を促進 ○漁業の振興及び漁村の活性化を担う漁業就業者を育成するため、道立漁業研修所において必要な知識、技術等に関する体系的な研修を実施	0708
林業の担い手対策の推進	○北森カレッジにおいて、インターンシップや林業・木材産業関係企業が参加する合同企業説明会の実施等を通じた、生徒の意向や適性に応じた支援により、卒業生が道内の林業・木材産業関係企業等へ就職【R3:29名、R4:34名】 ○北森カレッジにおいて、オープンキャンパスや高校・大学等への個別訪問、道外での入学試験などを実施し、道内外からの入学者を確保【R3:40名、R4:40名、R5:34名】 ○地域協議会において、地元高校生などを対象とした現場見学や就業体験などを実施し、林業従事者の確保に向けた取組を促進【全道14地域】 ○若手林業従事者のネットワークを活用した勉強会やセミナーを実施し、林業従事者の定着に向けた取組を促進【R4:勉強会・セミナー等4回、R5:セミナー2回】	0710
建設産業支援の取組促進	○建設業サポートセンターにおける経営相談等を実施【R4:経営相談13社・セミナー3回116社、R5:経営相談4社(8月現在)・セミナー1回74社(全3回予定)】 ○一般道民等に建設産業の役割や魅力を伝え、未来の入職促進に繋げるための建設産業ふれあい展等を札幌市や建設業団体等と連携し実施【R4:来場者10,534人、R5:R6.1開催予定】 ○建設産業の魅力を伝えるため、高校生を対象としたICT体験講習会(R4:2箇所、R5:4箇所予定)、若手建設産業就業者との意見交流会(R4:4箇所、R5:4箇所予定)を実施	0808

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ(「◇～」)より引用・作成